



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月6日

上場会社名 日本ペイント株式会社
 コード番号 4612 URL <http://www.nipponpaint.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 大 名

(氏名) 酒井 健二
 (氏名) 上岡 晃

TEL 06-6455-9141

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	165,543	△4.2	10,571	△22.1	13,034	△23.5	8,012	△29.4
23年3月期第3四半期	172,851	8.0	13,578	81.9	17,041	72.6	11,352	64.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 3,462百万円 (△57.2%) 23年3月期第3四半期 8,090百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	30.27	—
23年3月期第3四半期	42.86	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	268,479	137,861	47.9
23年3月期	265,905	136,610	47.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 128,692百万円 23年3月期 127,447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年3月期	—	4.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	226,000	△0.6	16,000	0.2	19,000	△5.9	12,000	△16.4	45.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	265,402,443 株	23年3月期	265,402,443 株
24年3月期3Q	681,336 株	23年3月期	664,536 株
24年3月期3Q	264,727,021 株	23年3月期3Q	264,879,002 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は別途実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、上期に東日本大震災の影響により国内外で顧客の生産活動が停滞した影響を受け、連結売上高は前第3四半期連結累計期間（以下「前年同期」）と比較して73.1億円減少し、1,655億43百万円（前年同期比4.2%減）となりました。連結営業利益は、世界的な原材料価格上昇に加え、上期における震災影響による国内外の売上高減少に伴う売上総利益の減少により、前年同期と比較して30.1億円減少し、105億71百万円（前年同期比22.1%減）となりました。連結経常利益は、前年同期と比較して40.1億円減少し、130億34百万円（前年同期比23.5%減）となり、連結四半期純利益は、前年同期と比較して33.4億円減少し、80億12百万円（前年同期比29.4%減）となりました。

セグメントの状況は次のとおりであります。なお、海外の事業会社においては一部を除いて12月期決算を採用しており、当第3四半期連結累計期間の対象期間は平成23年1月から9月となります。

《日本》

当地域では震災の影響により第1四半期の経済活動は低迷しましたが、第2四半期以降は自動車生産などにおいて回復の傾向が見られました。しかしながら、国内の塗料需要については、出荷数量・金額とも前年同期を下回りました。

このような状況のもと、自動車用塗料については自動車生産台数が第2四半期以降は回復傾向をみせたものの、第3四半期累計では震災の影響を受け前年同期を下回ったことから、売上高は前年同期と比較して30.6億円減少し、294億28百万円（前年同期比9.4%減）となりました。

汎用塗料についても、震災の影響により原材料調達難による供給の遅れや塗装工事の一部に遅れが発生するとともに、第2四半期以降も市場が低調に推移する中、売上高は前年同期と比較し22.4億円減少し、274億85百万円（前年同期比7.5%減）となりました。

工業用塗料は、震災の復興需要により建設資材向け・建設機械向け塗料などの出荷が堅調に推移したことから、売上高は前年同期と比較して7.7億円増加し、284億87百万円（前年同期比2.8%増）となりました。

利益面では、販売管理費などのコスト削減は行ったものの、売上高が減少した影響に加え原材料価格が上昇したことにより、営業利益は前年同期を下回りました。

これらにより、当地域セグメントの売上高は、前年同期と比較して45.4億円減少し、1,280億69百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は、前年同期と比較して16.6億円減少し、97億2百万円（前年同期比14.6%減）となりました。

《アジア》

当地域では、金融引き締め策の影響などにより中国の実質GDP成長率や自動車販売台数の伸びに鈍化傾向が見られたほか、その他のアジア各国の一部においても実質GDP成長率の伸びに鈍化傾向が見られました。

総額連結事業については、売上高は前年同期を下回りました。これは、第2四半期においては震災の影響により日系自動車メーカーが減産を余儀なくされたものの、第3四半期は生産が回復したことなどから、当地域における自動車用塗料の売上高は前年同期並となった一方で、海運不況の影響を受け船舶用塗料分野の売上高が前年同期を大幅に下回ったことなどによるものです。利益面でも原材料価格上昇の影響を受けたことから、当地域セグメントの営業利益は前年同期を大幅に下回りました。

持分法適用関連会社事業については、中国における売上高は前年同期を上回っているものの、第3四半期において中国政府による不動産価格抑制政策の影響を受け、建物向け内装用塗料の売上高の伸びが大幅に鈍化するなどの減速傾向が見られました。その他のアジアにおける売上高は前年同期を上回りました。利益面では、原材料価格上昇の影響を受けたほか、前年度

の第1四半期には税効果会計等の一時的要因による利益を計上していたこともあり、持分法投資利益は前年同期を下回りました。

これらにより、当地域セグメントの売上高は、前年同期と比較して11.6億円減少し、248億12百万円（前年同期比4.5%減）、営業利益は、前年同期と比較して12.8億円減少し、12億78百万円（前年同期比50.0%減）、持分法投資利益は、前年同期と比較して17.2億円減少し、35億円（前年同期比33.0%減）となりました。

《北米》

当地域における自動車生産台数は前年同期を上回ったものの、当社の主要顧客である日系自動車メーカーは震災の影響を受け、第2四半期は減産を余儀なくされました。このような状況のもと、自動車用塗料の売上高は前年同期を下回りました。損益面では原材料価格上昇の影響を受け、営業損失は前年同期を上回りました。

これらにより、当地域セグメントの売上高は、前年同期と比較して14.6億円減少し、108億13百万円（前年同期比11.9%減）、営業損失は、前年同期と比較して1.5億円増加し、3億66百万円（前年同期は2億12百万円の営業損失）となりました。

《その他》

当地域セグメントの売上高は前年同期と比較して1.4億円減少し、18億47百万円（前年同期比7.1%減）、営業損失は、前年同期と比較して0.6億円減少し、29百万円（前年同期は88百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産・負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して25.7億円増加して2,684億79百万円となりました。そのうち、流動資産につきましては前連結会計年度末と比較して112.1億円増加しておりますが、その主な要因は、売上の回復に加え当第3四半期末が休日であったことにより売上債権が増加したことによるものです。

固定資産につきましては、前連結会計年度末と比較して86.3億円減少しておりますが、その主な要因は、設備投資の抑制による有形及び無形固定資産の減少に加え、保有株式の下落により投資有価証券が減少したことなどによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して13.2億円増加し、1,306億17百万円となりましたが、その主な要因は、借入金を返済した一方で、当第3四半期末が休日であったことにより仕入債務が増加したことなどによるものです。

少数株主持分を含めた純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して12.5億円増加し、1,378億61百万円となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定やその他有価証券評価差額金の減少はあったものの、利益剰余金が59.0億円増加したことによるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度の47.9%のまま変動はありませんでした。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月8日発表の通期業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,346	27,531
受取手形及び売掛金	72,591	84,008
たな卸資産	26,108	26,077
繰延税金資産	3,102	3,124
その他	3,974	4,441
貸倒引当金	△700	△553
流動資産合計	133,422	144,629
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	29,052	27,685
その他(純額)	34,870	32,758
有形固定資産合計	63,923	60,444
無形固定資産		
のれん	12,180	11,444
その他	4,716	3,998
無形固定資産合計	16,897	15,442
投資その他の資産		
投資有価証券	45,048	41,068
繰延税金資産	3,282	4,338
その他	3,917	3,007
投資損失引当金	△35	△35
貸倒引当金	△551	△416
投資その他の資産合計	51,662	47,963
固定資産合計	132,482	123,850
資産合計	265,905	268,479

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,898	61,171
短期借入金	31,125	31,463
リース債務	249	261
未払法人税等	2,137	2,514
繰延税金負債	4	4
災害損失引当金	1,300	180
その他	12,457	11,168
流動負債合計	99,174	106,764
固定負債		
長期借入金	14,488	7,281
リース債務	502	628
繰延税金負債	1,543	1,439
退職給付引当金	8,434	9,710
役員退職慰労引当金	239	251
環境対策引当金	321	319
関係会社事業損失引当金	7	7
製品保証引当金	597	487
その他	3,985	3,725
固定負債合計	30,120	23,853
負債合計	129,295	130,617
純資産の部		
株主資本		
資本金	27,712	27,712
資本剰余金	27,187	27,187
利益剰余金	85,017	90,914
自己株式	△314	△324
株主資本合計	139,603	145,490
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3	△2,011
繰延ヘッジ損益	△5	△5
為替換算調整勘定	△12,153	△14,780
その他の包括利益累計額合計	△12,155	△16,797
少数株主持分	9,162	9,168
純資産合計	136,610	137,861
負債純資産合計	265,905	268,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	172,851	165,543
売上原価	114,972	112,082
売上総利益	57,878	53,461
販売費及び一般管理費	44,300	42,889
営業利益	13,578	10,571
営業外収益		
受取利息	28	31
受取配当金	362	316
貸倒引当金戻入額	—	43
持分法による投資利益	5,222	3,498
その他	586	540
営業外収益合計	6,199	4,430
営業外費用		
支払利息	522	412
為替差損	1,249	712
その他	964	841
営業外費用合計	2,736	1,967
経常利益	17,041	13,034
特別利益		
固定資産売却益	17	13
投資有価証券売却益	7	1
災害損失引当金戻入額	—	135
貸倒引当金戻入額	19	—
関係会社事業損失引当金戻入額	24	—
その他	10	5
特別利益合計	78	155
特別損失		
固定資産除売却損	273	83
減損損失	119	0
投資有価証券評価損	16	437
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	78	—
その他	75	12
特別損失合計	563	533
税金等調整前四半期純利益	16,555	12,655
法人税等	4,205	4,084
少数株主損益調整前四半期純利益	12,350	8,571
少数株主利益	998	558
四半期純利益	11,352	8,012

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	12,350	8,571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△962	△2,009
繰延ヘッジ損益	5	△0
為替換算調整勘定	△1,656	△1,663
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,646	△1,436
その他の包括利益合計	△4,259	△5,108
四半期包括利益	8,090	3,462
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,307	3,371
少数株主に係る四半期包括利益	783	91

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	132,612	25,975	12,273	170,861	1,990	172,851
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,427	2,068	216	10,712	348	11,061
計	141,039	28,044	12,490	181,574	2,338	183,913
セグメント利益又は損失(△)	11,365	2,557	△212	13,710	△88	13,621
持分法投資利益	2	5,219	—	5,222	—	5,222

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	13,710
「その他」の区分の利益	△88
セグメント間取引消去その他の調整額	△42
四半期連結損益計算書の営業利益	13,578

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて老朽化により遊休状態になった事業用の固定資産について、帳簿価格を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。また、「北米」セグメントにおいて遊休状態になった事業用の固定資産について、帳簿価格を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、「日本」セグメントで83百万円、「北米」セグメントで36百万円であります。

4. 製品及びサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
塗料	162,757	—
自動車用	57,445	—
汎用	32,420	—
工業用	30,833	—
その他塗料	42,058	—
ファインケミカル	10,094	—
合計	172,851	—

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他 (注) (百万円)	合計 (百万円)
	日本 (百万円)	アジア (百万円)	北米 (百万円)	計 (百万円)		
売上高						
外部顧客への売上高	128,069	24,812	10,813	163,695	1,847	165,543
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,660	1,969	133	9,763	427	10,190
計	135,730	26,782	10,946	173,459	2,275	175,734
セグメント利益又は損失(△)	9,702	1,278	△366	10,614	△29	10,585
持分法投資利益又は損失(△)	△0	3,499	—	3,498	—	3,498

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、欧州等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	10,614
「その他」の区分の利益	△29
セグメント間取引消去その他の調整額	△13
四半期連結損益計算書の営業利益	10,571

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

4. 製品及びサービスに関する情報

外部顧客への売上高	金額(百万円)	前年同期比(%)
塗料	155,435	△4.5
自動車用	52,817	△8.1
汎用	30,231	△6.8
工業用	31,741	2.9
その他塗料	40,645	△3.4
ファインケミカル	10,108	0.1
合計	165,543	△4.2

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。